

第1号様式

令和5年度 第3回 保土ヶ谷区地域自立支援協議会 担当者会議 議事録				
日時	令和6年2月29日(木) 14:00~16:20			
開催場所	保土ヶ谷公会堂 第一会議室			
出席者	<p>&lt;事務局&gt;石田(夢21)、久保・明田川・井上(保土ヶ谷区役所高齢・障害支援課)、平良(保土ヶ谷区生活支援センター)、島田(ほどがや希望の家)、相原(恵和相談室)、野田(いわまワークス)、田村・早川・遠藤(保土ヶ谷区基幹)</p> <p>&lt;各部部长(担当者)&gt;こども部会:吉田(保土ヶ谷区基幹)、ほっとらんど:力石(トラック)、自主製品販売:武藤(かるがもの会)、相談:谷口(夢21相談支援事業所)、防災:誉田(虹の会)、まちで暮らす:高桑(いわまワークス)、精神:斉藤(グランドマーリン)</p>			
欠席者	市川・内田(保土ヶ谷区役所高齢・障害支援課)、大竹(保土ヶ谷区社協)、早坂(ほどがや希望の家)			
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u> 記録:			
議題	<p>司会進行:生活支援センター 議事録:いわまワークス</p> <p>○ はじめに、参加者からの自己紹介 /14:00-14:15</p> <p>○ 拠点整備計画の共有(司会より)</p> <p>➢ 配布資料【令和6年度 保土ヶ谷区地域生活支援拠点機能の整備計画】参照</p> <p>1. 各部会より活動報告と次年度計画 ※別紙報告書・計画書参照</p> <p style="text-align: right;">/14:15-15:15</p>			
	事務局	<p>自立支援協議会とほっとなまちづくりとを連動させたうえで区内の地域福祉を有機させていく事を目指した。</p> <p>区内において障害者権利条約をどのように進めていくかという視点をもって地域づくりを行うという事を目標にやってきた。</p>	<p>区内福祉関係者の連続性を高めていきたい。</p> <p>区内事業所の一斉アクションを実施したい。障害者の人権を知ってもらうために。</p>	<p>障害者権利条約は1月20日に批准しているのでその日に一斉アクションを起こせないか。</p> <p>権利条約と人権にスポットを当ててアクションを起こせたら。</p>
	全体会・担当者会議	<p>各部会、担当者会、全体会とつながりを高めることが出来た事、区3機関定例カンファと協働でき整備計画を作れたことが大きな成果。</p>	<p>令和5年度に行ってきたことを固めていきたい。</p>	<p>保土ヶ谷ここまでやってますよという事を市域でも知ってもらいたい。</p>
	精神 net	<p>昨年度末に決めたスローガンを毎回みんなで確認しているところから始めている。</p> <p>基本的には事例検討を行い、そこから浮かび上がってくる課題についてみんなで共有して次年度に生かしていくという姿勢で行った。今年度事例検討の中で、精神保健分野の普及啓発が必要である事、精神 net の内部の活性化していく取り</p>	<p>普及啓発の為のイベントを実行したい。</p> <p>分科会的な、ほどほどの会、アウトリーチの2つを具体的に取り組んでいきたい。</p>	

		組みが出来たらという事を確認した。		
ほっとらんど		<p>地域の方々と触れ合いながらの障害者の社会参加が目標。</p> <p>コロナで開催出来ていなかったが4月から再開できた。</p> <p>4月は開店数は7日で22杯 5月10日で55杯 6月は10日で89杯 7月は10日で73杯 8月は10日で55杯 9月は9日で55杯 10月10日で91杯 11月115杯 12月9日79杯 1月2日13杯 2月10日</p> <p>開店を待っていたお客様もたくさんいりしゃり利用者のモチベーションにもつながった。</p> <p>課題としては、ボランティア不足、職員体制で開店できない時が増えている。物価高騰で経費が増えている。</p>	活動内容は例年通りで。	違う書類を提出してしまった。
こども		<p>継続的な課題として、声掛けをしているが参加してくれない事業所が多い。参加者を増やしたいが、報告書中の【市域で共有・検討したい課題】に記載した横のつながりを求めているのではと感じられる中で参加してくださいと言っても実現は難しくもっと別の方法を考えなければいけないと感じている。</p>	<p>緩く気軽につながる事が出来る場として機能できるように交流会であったり硬くならないあつまりを企画したい。</p>	
こども余暇		<p>年会2回実施。</p> <p>7月数年ぶりに外出企画を実施。</p> <p>ほっとフレンズは定員が埋まっているが、地活の余暇関係の児童系は、放デイ等のイベントが充実しているので参加が少なく、今後どうやって集めればよいか、成人の方とセットで年齢関係なくやっていたほうが良いかとも考えている。</p> <p>3回の実施を考えていたがケアプラのコーディネーターの欠員があったり業務負担が大きい事から2回の実施となった。</p>	<p>外出は2回の実施予定で今後内容を決めて行く。</p> <p>2回のほっとフレンズの企画に対してボランティアの方の研修とお子さん向けの余暇のセットで行う。</p>	
自主製品		<p>月一の定例会議、月一でのイオン販売を実施。</p> <p>8月横浜FC主催のイベント、10月4区合同の主張販売で星川駅での販売(5日間)、12と2月西谷浄水場での出張販売、2月の映画上</p>	<p>4月以降、区役所販売は毎日行いたい。</p> <p>区役所販売ではコロナ前は老人クラブ連合会の方々がボランティアとして参加していただいていたが、人数減等の話もあ</p>	<p>自立協の既存のイベントの活用について希望があればお伝えしていただくことで協働が出来ると思う。</p> <p>横浜市内の他の区では販売活動でどんな取り組み</p>

	<p>映会での販売を実施。 3月に区役所での販売ブースが再開される。3月4日から実施。 今年度から新たに2事業所が参画。 課題として、区役所販売が再開されることでこれまで開拓してきた販売機会を継続するとすると体制的に難しくなることも考えられる。</p>	<p>り今後協議していく。 西谷浄水場の販売について現在は3か月に1回だがうまく回っていけば2か月に1回も可能となる。 4区合同の星川駅での販売を秋に実施予定。 5月に単独で星川駅での販売を予定している。 新たな商品開発等、県商工とのコラボを考えている。</p>	<p>をしているのか情報交換をしたい。</p>
相談支援	<p>日々の勤務が忙しい中、どうやって皆さんに参加していただくか昨年度から事務局体制を作り今年度評価してきた。参加率は上がってきている。 事務局会議は毎月定期的に行っている。 3機関が入っている事でお互いの状況を互いに確認することが出来た。</p>	<p>次年度、相原氏が部長となる。 次年度、参加者の希望から部会を区役所の地下の会議室を使用し2時間の方向性で考えている</p>	<p>保土ヶ谷区の相談事業所は市内でも多いという噂だが実際は兼務や小規模事業所等で件数は多くない。</p>
防災	<p>被災地障害者センターの設立に向けての活動。 12月に規約が出来た。 ほどがや希望の家の防災訓練の報告等いろんな方が参加してくれた。 現在口座開設の申請中。</p>	<p>被災地障害者支援センターの開設に向けての準備、シミュレーションがメインとなる。 各事業所、地域の防災訓練に参加しセンターの存在をアピールする。 区社協、区役所、災ボラにも周知していただく広告を続けていきたい。 いろんな事業所にも参加していただきたい。</p>	
まちで暮らす拠点	<p>拠点機能の理解を深めていく事を目標 事例検討ではケース紹介ではなく地域課題を考えたアイデア出しをメインに行った。 GH交流会を実施。今年度は管理者の集まりだったので、人材確保・育成のアイデア出し、それぞれの事業所での工夫や状況の共有の場となった。 出席者が固定されているのは良いが、拠点部会なので全ての事業が関わっているのもっと多くの分野での参加者を増やしたい。</p>	<p>地域生活支援拠点コーディネーターについて、どのような動きを求めているのか、事業所がコーディネーターに求めているもの等探っていかなければいけない。 GH交流会では現場の職員に来ていただき顔の見える関係を作る為に生の声を聴いていきたい。</p>	
当事者	<p>上映会実施に向けての準備と実施。 区民会議への声掛けや資料作成等、たちばな会の大羽氏にかなりご尽力をしていただいた。 今回大きな宣伝活動はなく、自治会の掲示板の掲載位の宣伝だったが、想定で</p>	<p>次年度も福祉啓発の為に上映会等を実施していきたい。 新たな団体（発達障害の親の会）が参加予定。</p>	

	300人の参加が見られた。地域の方の参加が殆どであり、掲示板の宣伝の影響だけでなく、福祉への関心を実感した。 販売店の売上や様子、アンケート結果からも今回のイベントは福祉の啓発という事では大成功だったと感じた。 課題は、予算が手話通訳やボランティア等、手弁的に行う場面が多くあり、有意義な活動を継続していく意味でも適当な予算化は必要。		
その他			
地域支えあい研修	年2回の研修を実施。グループワークでは、いろんな方と話をすることが出来、横のつながりが深まった。		
お仕事フェア	3/10に実施予定。課題として、これまで5回実施しており、そろそろ効果測定を行い検証していく必要がある。	1~3月頃に実施したい。	自立協の予算とは別に区の連携事業予算として60万円の予算がついている。他の活動と一緒に出来たらよいと考える。

2. 全体意見交換等

/ 15 : 15 - 15 : 45

- 【にも包括】について、行政の説明では、共生社会を作る為には包括的な支援体制を整備することが必要と書かれているが、そこに精神部門も忘れないでという事で「届ける」と子をやろうと精神 net で共有を測っている。今後精神分野の事を積極的に発信していきたい。
- 部会内の事務局の設置について⇒全ての部会に事務局を設置するようお願いしている。一部の構成員の方に負担が偏ってしまう事を防ぎ、活動が滞ってしまう事を防ぐため。
- 報告書について、3月8日が確定版となっているが、3月の報告が入れ込めない。⇒局への報告書・計画書の提出メ切が3月25日となっている為、基幹相談でまとめる作業を考えると3月8日位が妥当。次年度もこのサイクルで担当者会議を実施するので、その予定も踏まえて部会の年間日程を立てていただくとよい。
- 計画書には予算についての記載欄があるが報告にはないのはなぜか⇒報告書への予算の記載は今後検討します。
- 部会によって予算の出所が違うが、区の自立支援協議会への年間予算は32万円となっている。そのうち12万円はホームページに必要で、残り20万円を各部会で振り分けるという仕組みとなっている。
- 計画書への予算の記載は、上記の20万円のなかで必要と考える金額を記載。他の出所から出ている予算は記載しない。
- 色々な事業所でそれぞれ協働して行っている活動がある。そうした活動と協議会のイベント等の活動とコラボしていったらどうか。

- 放デイが横の繋がりを求めているという状況に対しては、自立協の役割をまず知ってもらい、メリットを感じて参加してもらう事が必要では。困難事例や災害時等の事を考えると、横の繋がりは必須である事を事業所に知って欲しい。

### 3. その他（インフォメーション等）

/15:45-15:55

- ・ホームページワーキングより
- 3月8日までに各部会のHP担当を決めていただき、その方に詳細をレクチャーしていきます。
- ・資源マップワーキングより
- 人生のどの部分でこうした資源がありますよという一覧を作ってみました。皆さんのご指摘をいただいて随時修正していきたい。
- 2枚目（A4）は、申し越し細かい物を載せていきたいという事で例となっています。

### 4. 閉会

/16:00

- 基幹より  
年間報告書と計画書の正式な物を3月8日までに基幹相談にメールで提出をお願いします。HPに掲載する関係で各部会の開催日時と場所を入れてください。
- 代表より  
1年間お疲れさまでした。今年度、形は出てきたと、情報を共有する仕組みは出来てきたと思います。少しずつ出来る事をやっていく事が地域づくりにつながると思うので引き続きアイデア出しと実践今後ともよろしくお願いいたします。

次回担当者会議：6月4日（火）14:00~16:00

場所：保土ヶ谷公会堂第一会議室【予定】